

パブリックコメントの結果について

平成 29 年 1 月 30 日(月)から平成 29 年 2 月 28 日(火)の間に実施しましたパブリックコメントについては、12 件の意見が提出されました。
意見の概要と、県の考え方については、次のとおりです。
なお、意見の 6、12 については、意見の内容を受け、県立病院中期計画(2017)の本文を修正しております。

	意見の概要	県の考え方
1	地域医療構想では 2025 年には急性期病床が過剰で回復期病床が不足との見込みである。 今後も県立病院は急性期病床を担っていくのか。	県立病院の役割である、質の高い高度・先進的な専門医療を提供するために、急性期病床を担ってまいります。
2	がんセンター愛知病院は、がん患者の地域包括ケアシステムの中心的役割を果たすとあるが、現状、緩和病床は 20 床しかないが、増加する予定はあるのか。	予定はありません。 ただし、計画は必要に応じ毎年見直しを行うこととしております。
3	がんセンター愛知病院について、奥三河等の医療不足地に移転するなどの考えはないか。	
4	がんセンター愛知病院の取り組みである、結核・感染症・へき地医療の政策医療の記載が少ない。	施策体系の項目のひとつとして記載しています。
5	がんセンター愛知病院は、以前の循環器呼吸器病センター同様、岡崎市民病院と統合するのか。	岡崎市民病院との連携・協力体制のさらなる強化を図るため、新たに協議会を設置し、今後の両病院の医療連携のあり方について幅広く協議していくこととしております。
6	小児保健医療総合センターの児童虐待への取り組みについて、児童相談所との関係はどうなっているのか。	児童相談所との関係について、計画に追加して記載させていただきます。 【P. 73 を修正】
7	経営形態の検討について、独法化のメリットが大きいのであれば、結論を先送りにせず、計画期間中に明確に独法化について記載すべきではないか。	各病院、置かれた状況が大きく異なることから、当面は現行制度の枠内で可能な限りの経営改善を進めることとし、経営形態の検討については、さらなる自律的な経営を行うための選択肢として考え、引き続き情報収集、検討を続けてまいります。

	意見の概要	県の考え方
8	厚生労働省が進める「地域医療連携推進法人」に参加する予定はあるか。	現在のところ予定はありません。
9	県立病院の経営改善が進まないのは職員の意識が変わっていないからではないか。 計画の進捗状況について、毎年度、職員に説明し、記者発表、ホームページなどで広く県民に公表して欲しい。	県立病院経営改善推進委員会の開催後に、会議録と併せて計画の進捗状況を記載した資料を愛知県のホームページに掲載しております。
10	この計画について、各病院長から各病院の職員に対して説明をするようにして欲しい。	説明いたします。
11	職員の勤務環境を改善し、医療従事者にも優しい病院であるよう取り組んで欲しい。	職員のワーク・ライフ・バランスの推進や、働きやすく、働きがいのある勤務環境の整備については、従前から取り組んでおります。
12	がんセンター愛知病院の病床利用率の計算に、結核や感染症病床が含まれているのか、含まれていないのかが分からない。	結核、感染症病床を含んでいるのかどうかについて、注記を記載します。 【P. 22、P. 54 を修正】